



# 令和元年度 よこはま夢ファンド報告書



横浜市

# よこはま夢ファンド制度の概要

『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動をみんなで支えるための基金です。

令和元年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、令和元年度の活用状況についてご報告させていただきます。

これからも皆さまのお気持ちを無駄にすることなく、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしくお願いいたします。

## よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド(横浜市市民活動推進基金)に積み立てて、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、市民活動団体への専門アドバイザーの派遣、団体の会計・税務・労務・組織運営などの各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆さま、企業の皆さまなどからのご寄附

「よこはま夢ファンド(横浜市市民活動推進基金)」に積み立てます

### 財政的支援

#### ●登録団体助成金

登録しているNPO法人へ財政的な支援を行います。

#### ●組織基盤強化助成金

「人材」「資金」「情報」などの組織の基盤を強化するための取組に助成します。

### 団体育成

#### ●各種講座の実施

会計、税務、労務、組織運営等に関する講座を定期的を開催し、市民活動団体の活動を支援しています。

◆外部委員による審査について  
各種助成金の申請や団体の登録については、次の審査会で審査を行います。

◆横浜市市民協働推進委員会

◆横浜市市民活動運営支援事業部会

地域社会  
への貢献

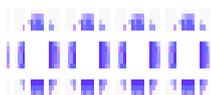
広く市民  
へ公開

## ●登録団体助成金

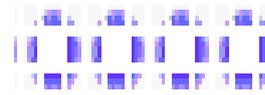
登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

## ●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための助成金です。ファシリテーターを活用した“自己評価”の機会の提供や、この助成金を受けている団体同士の情報交換会を開催し、団体の組織基盤強化を支援します。



# よこはま夢ファンドの特色



### <特色1>

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

#### 【団体】

登録しているNPO法人 230団体(令和2年9月末現在)

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

#### 【活動分野】

- ①保健・福祉・子ども(保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- ②まちづくり・環境(まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- ③文化・スポーツ(生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- ④国際・人権・平和(国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- ⑤経済・観光振興(情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

### <特色2>

寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。(ふるさと納税)

(個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入)

#### — ふるさと納税 —

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限はあります)。

## 寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。

ふるさと納税額(寄附金額) (例:個人の方の場合)

$\frac{\text{所得税の控除額}}{\text{寄附金額}-2,000\text{円}} \times \text{所得税の税率}$	$\frac{\text{住民税の控除額}}{\text{基本分(寄附金額}-2,000\text{円}) \times 10\%(\text{住民税の税率})} + \text{特例分 住民税所得割の2割が上限}$	自己負担額 2,000円
---	--	-----------------

・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

・所得税率は課税所得に応じて異なります。

・住民税の控除(基本分)の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。

※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。  
詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

# 令和元年度 よこはま夢ファンドの報告

## — 収入の部 —

＜令和元年度にいただいたご寄附＞ 件数 475件 総額 30,357,514円

○希望する団体への寄附	459件	計 28,253,374円
-------------	------	---------------

○希望する活動分野への寄附	10件	計 1,924,735円
---------------	-----	--------------

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	8件	1,820,293円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	0件	0円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	1件	84,442円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	1件	20,000円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

○希望の分野や団体を指定しない寄附	6件	計 179,405円
-------------------	----	------------

※創設～令和元年3月までに、合計2,631件 総額323,924,485円の寄附をいただいています。

### 令和元年度にご寄附いただいた方々

お名前とご寄附金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※順不同

足立 久美子 様	20,000円	高田 邦久 様	150,000円
新井 雄一 様	50,000円	高田 八千代 様	20,000円
荒木 康之 様	10,000円	田口 繁雄 様	20,000円
有馬 卓宏 様	100,000円	寺嶋 之朗 様	200,000円
飯野 幸久 様	100,000円	寺田 篤弘 様	20,000円
五十嵐 一晴 様	100,000円	朝長 万左男 様	10,000円
五十嵐 邦夫 様	30,000円	豊原 利樹 様	30,000円
池永 秀幸 様	500,000円	中 賢治 様	10,000円
石川 孝司 様	100,000円	中澤 信子 様	10,000円
井上 文男 様	20,000円	ハウエンシュタイン	
太田 弘 様	30,000円	ケン 様	200,000円
尾上 浩一 様	70,000円	白田 浩一 様	12,000円
金子 和弘 様	50,000円	原田 進 様	600,000円
木野内 俊雄 様	10,000円	平石 眞司 様	30,000円
久保田 龍士 様	55,000円	福田 みほ 様	300,000円
児玉 勇 様	50,000円	藤代 國忠 様	1,000円
齋藤 悟 様	100,000円	保坂 正伯 様	10,000円
澁谷 實 様	50,000円	前田 治 様	20,000円
首藤 もと子 様	10,000円		

梶井 明 様	10,000円	小西 静子 様	30,000円
三角 忠 様	50,000円	小川原 智子 様	5,000円
三田 重雄 様	10,000円	小泉 圭司 様	30,000円
吉永 道代 様	10,000円	松浦 博之 様	40,000円
米山 幸子 様	10,000円	松田 圭子 様	80,000円
渡辺 健 様	200,000円	上正路 信一 様	50,000円
安藤 竜一 様	600,000円	上村 辰範 様	20,000円
伊藤 昭広 様	50,000円	上村 隆 様	20,000円
伊藤 誠 様	20,000円	上浪 節子 様	20,000円
井元 健太 様	8,000円	上浪 冬実 様	20,000円
井坂 誠司 様	600,000円	森 一俊 様	50,000円
井上 双美 様	70,000円	森 耕太郎 様	150,000円
永野 俊広 様	30,000円	赤沼 大史 様	10,000円
岡本 輝行 様	10,000円	川本 祐司 様	5,000円
岩井 誠 様	50,000円	前原 純一郎 様	10,000円
橋本 良三 様	10,000円	前田 治 様	20,000円
古屋 直樹 様	130,000円	大橋 敬一 様	10,000円
功力 嘉郎 様	10,000円	長谷川 一男 様	30,000円
荒金 眞佐子 様	118,000円	田中 真一 様	30,000円
高橋 淳 様	5,000円	田中 巖 様	200,000円
高橋 真穂子 様	10,000円	田中 哲 様	30,000円
高橋 明 様	10,000円	土居 幸仁 様	10,000円
黒岩 理絵 様	10,000円	藤田 健一 様	10,000円
黒川 隆行 様	20,000円	藤木 茂子 様	20,000円
腰原 誠 様	300,000円	内山 勝文 様	200,000円
今野 裕太 様	10,000円	馬場 健太 様	250,000円
佐藤 雄一 様	30,000円	武井 浩 様	30,000円
佐藤 治 様	100,000円	服部 成男 様	20,000円
齋木 隆士 様	170,000円	平元 周 様	200,000円
坂下 そのみ 様	30,000円	平野 岳 様	10,000円
三上 心平 様	30,000円	豊田 直之 様	80,000円
三宅 はつえ 様	70,000円	豊田 和子 様	20,000円
三平 洵 様	20,000円	名和田 是彦 様	100,000円
山原 尚美 様	10,000円	茂垣 達也 様	50,000円
山藤 憲明 様	500,000円	林 厚志 様	15,000円
柴田 和彦 様	50,000円	剣持 喜之 様	20,000円
小佐 茂好 様	10,000円	澤 祥幸 様	50,000円
		齊藤 穰 様	10,000円
一般社団法人横浜市港南区医師会 様		株式会社カイトー	
	68,863円	代表取締役会長 宮川 昌夫 様	
よこはまシニアボランティアポイント事業			200,000円
ボランティア登録者 17名様分		株式会社 善 様	
	37,400円		30,000円
有限会社がんこ本舗 様		神奈川県中小企業電子計算機研究会	
	200,000円	会長 後藤 猛 様	
神奈川福祉事業協会 会長 伊坂 重憲 様			298,874円
	500,000円	ロッキンヨコハマ155実行委員会 様	
有限会社マインド 様			100,000円
	450,000円	神奈川区に住み続けるために 様	
一般財団法人よこしんふれあい財団			84,442円
理事長 大前 茂 様	1,000,000円		

お名前の公表をご了解いただいた寄附者の皆様

※順不同

LARSON  
JUSTINCOLLIER 様  
浅岡 浩行 様  
安食 美和 様  
荒木 剛夫 様  
飯島 眞一 様  
五十嵐 進 様  
伊藤 秋津 様  
伊藤 泰 様  
井上 美樹 様  
岩田 慶隆 様  
榎本 守 様  
岡野 恭介 様  
小川 博永 様  
荻原 三男 様  
奥田 弘美 様  
小野山 章久 様  
加納 健 様  
壁谷 利秀 様  
菅野 友紀 様  
小杉 貴一 様  
小林 収 様  
小林 久美子 様  
今野 義之 様  
齋藤 光洋 様  
澤田 眞治 様  
白松 浩 様  
鈴木 直亮 様  
隅田 都保美 様  
高橋 むつみ 様  
高橋 良輔 様  
瀧本 憲一 様  
千代 継 様  
千原 遠見彦 様  
千原 由美子 様  
辻 信子 様  
土山 賢二 様  
出口 武志 様  
豊倉 節子 様  
豊田 茂芳 様  
長井 麻美 様  
中島 晃紀 様  
永田 セリーン 様  
永田 陽一 様  
中村 光一 様  
中安 一雄 様  
西岡 宗司 様  
西村 睦美 様

林 諭 様  
林 信裕 様  
平井 裕二 様  
廣井 敬三 様  
福田 憲明 様  
福村 正 様  
古川 敏郎 様  
保倉 秀法 様  
マーティン  
ジャック 様  
舞田 隆勇 様  
真板 保昌 様  
益子 道子 様  
三竿 郁夫 様  
本橋 篤 様  
本橋 麻衣子 様  
桃井 芳晴 様  
森田 修 様  
柳本 瑞枝 様  
山口 大輔 様  
山越 篤哉 様  
山中 さとえ 様  
山中 正竹 様  
山本 浩正 様  
結城 博夫 様  
横山 義宏 様  
吉崎 朗光 様  
吉崎 美智子 様  
吉崎 安時 様  
吉崎 泰光 様  
吉田 和史 様  
吉野 剛蔵 様  
和久井 健司 様  
渡辺 房子 様  
伊橋 舞 様  
伊藤 進一 様  
伊藤 智彦 様  
伊藤 祐有 様  
井上 貴博 様  
永野 健一 様  
園部 佳代 様  
奥川 丈比 様  
横澤 比呂美 様  
岡村 幸博 様  
荻江 宣利 様  
加島 隼人 様

加藤 栄一 様  
加藤 富美 様  
加藤 邦夫 様  
夏井 敬史 様  
河合 雅樹 様  
岸本 伸之 様  
岩元 佐代子 様  
吉田 久美 様  
宮西 宏樹 様  
宮本 正士 様  
牛越 信雄 様  
橋爪 啓子 様  
金子 美智子 様  
金子 隆二 様  
桑原 清 様  
原内 洋輔 様  
戸塚 由美子 様  
御園生 泰明 様  
江藤 敏夫 様  
江藤 悠貴 様  
江頭 辰夫 様  
高橋 秀明 様  
佐藤 由紀子 様  
坂田 嗣生 様  
坂田 優 様  
坂田 辰男 様  
三戸 和明 様  
三品 恭子 様  
山口 剛史 様  
山崎 由美 様  
山本 経国 様  
市川 悦子 様  
児玉 直之 様  
寺田 眞由美 様  
初田 武彦 様  
小山 哲哉 様  
小島 俊 様  
小林 淳志 様  
上舞 千恵 様  
新居田 徹 様  
森 敬子 様  
森 二郎 様  
森平 直子 様  
森本 正信 様

森本 良子 様  
神田 昌実 様  
石塚 一真 様  
石田 恵 様  
川田 拓也 様  
川田 麻記 様  
川島 慎也 様  
倉林 敦子 様  
村松 央章 様  
村瀬 清美 様  
村田 卓 様  
中島 有理 様  
鳥飼 洋二 様  
椎名 鉄男 様  
田丸 弥生 様  
都坂 和真 様  
土井 麻衣 様  
土井 裕一朗 様  
徳田 和宏 様  
内藤 達夫 様  
南澤 輝雄 様  
難波 和也 様  
八谷 まち子 様  
福田 たかゑ 様  
平元 彩 様  
平野 岳 様  
片山 優 様  
北畑 明子 様  
茂野 富美子 様  
野村 由利夫 様  
六車 弘人 様  
劔持 靖子 様  
齊藤 剛毅 様

株式会社文明堂  
代表 平川 尚義 様

横浜行政書士センター  
代表 内野 雄一郎 様

医療法人社団  
湘南太陽会 様

多くの皆様からたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

# 令和元年度 よこはま夢ファンドの報告

## — 支出の部 —

### ●登録団体助成金 ……44事業に、総額25,719,747円を助成

子育て支援、芸術、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

#### ✿令和元年度第1回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	こんにちは・国際交流の会	国際交流事業 ～「バス研修旅行」～	200,000円
2	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域団体・企業・市民の連携による地域交流会開催事業	270,000円
3	カウンセリングオフィスSARA	低所得者向けメンタルヘルス事業	1,200,000円
4	ミニシティ・プラス	特命こども地域アクタープロジェクト	437,654円
5		ミニヨコハマシティ	404,103円
6		認定NPOに関する基盤強化事業	909,348円
7	Umiのいえ	子育て中の親を中心にした集い、学び、思いの分かち合いの場づくり活動	890,000円
8	留学生と語り合う会	留学生支援のための記念誌発行(創立20周年記念事業)	150,000円
9	Yokohamaこども応援団	ワークライフバランス事業「パパ&ママと赤ちゃんのふれあい運動遊び」	10,000円
10	アース・エコ	親子で学び実践する地球環境保全	135,000円
11	ひだまりの森	親子の孤立を防ぐ「小さなしゃべり場」事業 ～スモールステップを伴走する支援～	100,000円
12	海の森・山の森事務局	「水育」子どもたちへの環境教育と流域住人環境意識改善の実現	217,520円
13	はぐくみ心理相談所	カウンセリング紙データの電子化事業	50,000円
14	横浜シュタイナー こどもの園を育てる会	子育て支援事業(親子の交流会開催、講座開催、冊子発行)	475,000円
15	よこはま里山研究所	活動拠点を地域に聞く「土間」づくり ～街なかで里山とかかわる暮らしを～	350,000円
16	青空保育ぺんぺんぐさ	青空保育事業	548,458円

#### ✿令和元年度第2回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営及びその周辺事業	8,100,000円
2	横浜スポーツコミュニケーションズ	ヨコハマ・フットボール映画祭事業	600,000円
3	横浜こどものひろば	人間に会う舞台芸術体験	中止
4	Umiのいえ	子育て中の親を中心にした集い、学び、思いの分かち合いの場づくり活動	320,000円
5	ひだまりの森	子育て期の相談 相談員「リスナル ケアラー初級」養成事業	90,000円
6	楠の木学園	第26回楠の木学園 発表会	500,000円
7	ヴィエムシイ	講演会の開催	104,500円
8	横浜シュタイナー こどもの園を育てる会	子育て支援事業(親子の交流会開催)	65,000円
9	ファゼール・ボン	紙芝居を通じた国際交流事業	548,458円

10	スーリールファム	スーリールファム フェス事業	70,000円
11	横浜にプレイパークを創ろうネットワーク	みんなあつまれ！YPC子ども外遊びフェスティバル～横浜の子育てをみんなで応援しよう！～	445,000円

### ※令和元年度第3回登録団体助成金※

	団体名	事業名	交付金額
1	スマイルオブキッズ	滞在施設運営事業	1,600,000円
2	カウンセリングオフィスSARA	市民講座事業	75,000円
3		ホームページ事業	500,000円
4	WE21ジャパン・旭	フィリピンの青年農業者と日本の有機農家や農産加工者とのネットワーク及び地域市民との交流を図る事業	中止
5	ひだまりの森	「子育て期の相談」への理解を深めるための支援者交流事業～支援者のための勉強会「お母さんに寄り添う 話の聴き方」～	70,000円
6	神奈川県環境学習リーダー会	「第26回市民環境活動報告会」	50,000円
7	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営及びその周辺事業	1,330,000円
8	横浜こどもホスピスプロジェクト	こどもホスピス・小児緩和ケア啓発シンポジウム	1,000,000円
9	神奈川県防犯セキュリティ協会	『防犯技術セミナー』の実施	70,840円
10	ピースデポ	「核兵器・核実験モニター」「イアブック 核軍縮・平和」発行	1,886,394円
11	アジア図書館ネットワーク	アジア諸国への図書寄贈	100,000円
12	海の森・山の森事務局	「水育」子どもたちへの環境教育と流域住人環境意識改善の実現	350,000円
13	Vイエムシイ	シニア活性化団体VMCY運営事業	175,930円
14		未病対策推進事業	70,000円
15	よこはま里山研究所	活動拠点を地域に聞く「土間」づくり～街なかで里山とかかわる暮らしを	1,000,000円
16	みんなのお箸プロジェクト	ホームページの充実	50,000円
17	かながわ環境カウンセラー協議会	『福島を忘れない』市民環境活動報告会における啓発活動	50,000円

### ●組織基盤強化助成金 … 2団体に、総額561,000円を助成

継続して活動をしていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を向上させる取組に助成しました。また、取組の効果を高めるために、横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設けました。さらに、助成団体同士が現況を報告したり、お互いにアドバイスをし合う情報交換会を令和元年11月22日に開催しました。

### ※令和元年度組織基盤強化助成金

	団体名	申請内容	交付金額
1	フォーラム・アソシエ	活動継続のための組織の人材育成・広報力強化事業	300,000円
2	リンクトゥミヤマー	多文化共生相談事業を担うグローバル・ローカルな視野を持った人材の育成と広報による組織基盤の強化	261,000円

## ●専門アドバイザーの派遣（令和元年度終了事業）

会計処理の仕方を見直したい、行っている事業に関わる税金の種類や金額を確かめたい、雇用関係の規定が十分な内容になっているか確かめたいなど、団体が個別に抱える会計税務や労務に関する課題について、市民活動団体の運営に詳しい専門家（税理士や社会保険労務士、建築士）が、団体の事務所に直接伺い、アドバイスをを行いました。

※よこはま夢ファンドで、専門アドバイザー派遣を受ける際に必要な費用の一部を助成しました。

※【令和元年度の実績】 助成金額： 計203,000円

（派遣回数：税理士6件、社会保険労務士6件 計12件）

【派遣を受けた団体の声】

- ・就業規則や雇用に関する詳細もわかり、大変勉強になりました。
  - ・労働保険料年度更新や社会保険算定基礎届の記入方法を丁寧に説明いただき、とても助かりました。
    - ・労働保険、雇用保険、社会保険等の手続きを行うことや、個人に対しては雇用契約書を作ることが、モチベーションを高めること、リスク管理のために大切であることがわかりました。
- ありがとうございました。

## ●各種講座の開催

1年間の会計処理の流れやNPO法人の会計基準／税金について、労務に関する規程や保険、雇用に関して必要な手続きについて、事業計画やPR、リーダーシップ等、組織の運営に必要な考え方やスキルについてなど、団体の会計、税務、労務、組織運営に関する講座を、市民活動団体の運営に詳しい講師を招いて、実施しました。

【令和元年度の実績】 講座名、講座開催数、延べ参加者数

- ・よこはまNPO会計塾（基本編）4回、122名
- ・よこはまNPO労務塾 1回、28名

【講座を受けた団体の声】

- ・簿記を全く知らなかったもので、基礎から教えていただきとてもよく分かりました。
- ・特に経験がないまま会計業務をしてきましたが、今回の研修でいろいろな点を確認することが出来て、とても参考になりました。
- ・NPO法人設立、運営に関する概要についてとても良く理解することができました。

## ●中間支援組織による相談事業（令和元年度終了事業）

新たな事業をはじめめるために類似事業の視察を行いたい、無理のない補助金や助成金の活用方法について知りたい、子どもが参加できる地域行事の企画及び運営方法について知りたいなど、団体が個別に抱える運営上の課題について、専門性を持つ中間支援組織等が、団体の事務所に直接伺い、相談を受けました。

※よこはま夢ファンドで、中間支援組織による相談事業を受ける際に必要な費用の一部を助成しました。

【令和元年度の実績】 助成金額： 計366,400円

（派遣回数：21件）

【派遣を受けた団体の声】

- ・子ども達が主催側になって運営することがどのくらい大変なことなのか見当がつかなかったが、実例を聞かせていただきスッキリしました。
- ・NPOや企業、地元住民が集える居場所になるには、それぞれの主体と意見交換や相談しながらニーズを知らなければいけないということを現場を見ながら学ぶことができました。

## 助成金を活用した事例紹介

### <登録団体助成金を活用した団体の声>

#### 特定非営利活動法人 横浜こどもホスピスプロジェクト 『こどもホスピス・小児緩和ケア啓発シンポジウム』

横浜こどもホスピスプロジェクトは、生命を脅かす病気を持つ子どもとその家族の生活を向上させ、すべての子どもが子どもらしく生きる権利を保障することに寄与することを目的とする団体です。

日本には小児がんなど生命が脅かされた子どもたちが約2万人いますが、その家族は病院での治療を受けている以外は十分に休みをとることができず、疲弊しています。しかし、その家族達を支援している在宅支援施設は日本にはほとんどないという問題があります。

イギリス発祥の「こどもホスピス」は、「小児緩和ケア」を提供する場所で、成長・発達を支える場所です。

患者ではなく子どもに、病院ではなく家として、楽しい時間を友として寄り添いながら作り出していくことを目指しています。



令和元年度は、よこはま夢ファンド助成金を活用して、世間でも注目を集めているファンドレイジングをテーマとした第2回世界こどもホスピスフォーラムを開催しました。

子どもホスピスの本場であるイギリスと、自国だけではなく外国からも多くの寄付を集めている中国から講師をお招きし、公的制度を利用しない運営方法や、寄付金の集め方等をお聞きしました。

当日は200人もの人にお越しいただき、小児緩和ケアの社会への認知と普及をすることがどれだけ大事か理解いただけたのではないかと考えられます。

令和3年夏頃には横浜市金沢区に待望の子どもホスピスを建設し、生命を脅かされた子どもとその家族への支援を更に行います。

### <組織基盤強化助成金を活用した団体の声>

#### NPO法人 フォーラム・アソシエ 『活動継続のための組織の人材育成、広報力強化』

当法人はスタッフ3人で構成されています。近年は従来の業務だけでなく新しい事業も推進する中で、人材の不足が課題となっていました。

また、団体の活動、企画への参加者を募るため広報の強化も課題となっております。

これらから当初の計画ではスタッフを新たに雇用する予定でしたが、確保することが難しかったため、既存スタッフのスキルアップを図る研修を実施しました。これにより苦手意識の強かったSNSなどにも事務局が積極的にチャレンジし、広報力が格段に向上しました。無駄な作業を洗い出し、新しいしくみを取り入れることで、効率的に業務を進められるようになりました。

今後は研修で学んだことを活用して、さらなる事務局業務の効率化や、企画の集客力強化に繋がります。また、新規事業のこれからを構想するために、現事業担当理事の連絡会を企画し次のプログラム作りにとりかかっています。

**特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー**  
**「多文化共生相談支援事業を担うグローバル・ローカルな視野を持った  
人材の育成と広報による組織基盤の強化」**

当法人は在日ミャンマー人の相談支援を行っています。平成30年は相談件数が200件あったことに対し、相談員は2名という少人数のため、既存相談員2名のスキルアップと新たな人材育成が課題としてありました。

そこで、まず既存相談員のスキルアップ研修を行い、幅広いニーズの相談に対応する準備を行いました。次に新たにボランティア相談員を迎え、それぞれの特性を生かせるよう研修を行いました。

第一回目の自己評価で理事長の考えとメンバーの考えを発表しあう機会を持てたため、その後の仕事での意思疎通がスムーズに行えました。また、組織基盤強化を行ったことにより、多くの人に当会を知ってもらう機会を得、新たな仲間を得ることができました。

今後は意見交換を通じて「より資金調達を行える環境・人員を整えること」「より多くの関係者が外国人支援の実態を理解すること」という必要性が見えていたため、それらを解消するためにも当法人の取組をより進めていきたいと考えています。

# よこはま夢ファンドへのご寄附の方法

寄

## 金融機関での 納付書払い

○寄附申込書をホームページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、市民局市民協働推進課までお送りください。(郵送、e-mail、FAX等)

○よこはま夢ファンド寄附申込フォームよりお申し込みください。



○届いた「納付書」で近くの金融機関窓口でお手続きしてください。  
※「納付書」は申込後、1～2週間ほどでお送りします。

## クレジットカード払い マルチペイメント払い

(コンビニ決済、インターネットバンキング等)

ふるさとチョイスからお申し込みください。  
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/14100>

ふるさとチョイス 横浜



ポータルサイト内よりお支払い方法を選択し、お支払いください。

附

横浜市から届く

①お礼状、②寄附金受領証明書(クレジットカード払い、マルチペイメント払いの方のみ)をお受け取りください。

税  
の  
控  
除

ご自身で確定申告をする場合

寄附金受領証明書または納付書兼領収書をもとに、税務署にて確定申告のお手続きをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度の適用をご希望の場合

横浜市あて  
寄附金額税額控除に係る申告特例申請書を提出してください。

※ 詳しくは、市民局市民協働推進課「よこはま夢ファンド担当」までお問い合わせください。

TEL 045-671-4734 FAX 045-223-2032

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodomanabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

よこはま夢ファンド

検索



寄附方法紹介ページ  
QRコード

●返礼品について

一定額以上をご寄附いただいた市外在住の寄附者の方には、寄附金額に応じて返礼品をお送りしています。

寄附メニューに共通してお選びいただける返礼品の詳細は、「横浜市への寄付「ふるさと納税」」をご参照ください。

(<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/shisai-takarakuji-kifu/kifukin/kyoutsuuhenreihin.html>)

(地方税法が改正されたことにより、令和元年6月1日より市内にお住まいの方には返礼品をお送りしておりません。)

●よこはま夢ファンドリーフレットについて

令和2年度から、よこはま夢ファンドリーフレットをリニューアルしました。

A5サイズとなり、手にとっていただきやすい大きさになりました。

リーフレットは、各区市民活動支援センターや各区社会福祉協議会等に配布していますので、ぜひご利用ください。



令和2年10月発行

<お問い合わせ>

横浜市市民局市民協働推進課 よこはま夢ファンド担当

TEL 045-671-4734 FAX 045-223-2032

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

(〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10)